

民主島根

2016年
8.28
第1269号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

改憲許さず、憲法を生かす政治に 「終戦の日」各地で街頭宣伝

尾村県議、党松江市議団ら先頭に



訴える(左から)橋市議、吉儀市議、尾村県議、片寄市議(松江市)

県内の日本共産党地方議員は15日、松江、出雲、江津、浜田、安来の5市で宣伝し、「多くの市民、野党と力を合わせ、憲法を守り生かす政治の実現に頑張ります」と訴えました。

松江市で、尾村利成県議は安倍内閣が参院選後に明文改憲を言い出したことを批判し、「憲法隠しの安倍内閣は許さない世論と運動を巻き起こそう」と強調しました。

片寄直行市議は「安倍暴走政治を許さないため、次期衆院選では野党共闘を盛り上げよう」と述べました。

吉儀敬子市議は「誰の子どもも殺させない」を合言葉に広がった若い母



親らの戦争法廃止の運動にふれ、「市民の心の底からの叫び、行動を大切に、野党4党が戦争法廃止に頑張る」と表明。橋

祥朗市議は、次期大型輸送機C2の配備が進む航空自衛隊美保基地(鳥取

共産・民進・社民 合同街宣 戦争法廃止、安倍政権打倒を

親米子市)をあげ、「世界の戦争の窓口になりかねない。戦争のない、平和で安心して暮らせるよう頑張る」と訴えました。

益田市では「9条を守ろう益田・鹿足連絡会」が宣伝しました。

日本共産党と民進党、社民党は19日夕、松江市の県庁前で合同演説し、戦争法廃止を訴えました。

日本共産党県委員会の尾村利成副委員長は、参院選で1人区すべてで野党統一候補を立て、11選挙区で勝利したことを報告し、「野党3党は参院選後も安倍政権打倒、憲法を守り抜く立場で協力・共同をもつと強くしたい」と強調。(写真)

また、安倍政権が憲法

赤旗囲碁・将棋大会日程

- ☆松江地区大会
10月2日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: いきいきプラザ島根4F
【参加申込】日本共産党東部地区委員会
TEL: 0852-24-2456
- ☆雲南地区大会
9月18日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 三刀屋交流センター
【参加申込】日本共産党東部地区委員会
TEL: 0852-24-2456
- ☆出雲地区大会
9月11日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 神門コミュニティーセンター
【参加申込】日本共産党中部地区委員会
TEL: 0853-22-4031
- ☆江津地区大会
9月4日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 県立少年自然の家
【参加申込】日本共産党西部地区委員会
TEL: 0855-23-1000
- ☆益田地区大会
9月25日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 益田市立市民学習センター
【参加申込】日本共産党西部地区委員会
TEL: 0855-23-1000



保育制度フォーラムや10の講座、30の分科会などが行われ、3日間で保護者、保育者、研究者、議員ら4336人が参加し、交流しました。

子ども・子育て支援新制度の課題と改善方向が話し合われたフォーラムでは、保育研究所所長の村山祐一さんが2000年に比べ保育単価は上がらず、保育士の平均賃金は5%下がっていると指摘。運営や財政基準の諸政策に専門職としての位置付けを提案しました。

全国保育合研 島根で初開催
党地方議員らも参加し、学習・交流

「ひろげよう! 平和へのねがい つなげよう保育・子育ての輪」をテーマに、第48回全国保育団体合同研究会(保育合研)が20日から22日まで松江市で開かれました。(写真)

改悪を進める危険や、オバマ米大統領が検討する核兵器先制不使用宣言に反対の意向を伝えたことを批判し、「核兵器固執勢力、憲法を踏みこむ危険な内閣を退陣に迫り込

んでいくために力を合わせていこう」と呼びかけました。

民進党県連からは角智子副代表が、社民党県連合からは足立昭二副代表が訴えました。

鼓動

77人が犠牲となった2014年8月の広島市の土砂災害から20日で2年となった。被災地では遺族や住民らが献花し、追悼の祈りをささげた▼我が母校である広島経済大学(安佐南区)のボランティア団体「武田山まちづくりプロジェクト」の学生は、あの日の朝、見慣れた町並みの眼前に広がった土砂を目の当たりにし、「何かしなくては」と、その「何か」を行動に移そうと、どうして良いかわからないままスコップを手にし、ボランティア活動に取り組んだ▼学生らは20日夜、昨年に続き「鎮魂のキャンドルナイト」を開催。企画したリーダーの経済学部3年吉本光太郎さん(20)は「災害を風化させたくない」という一心で企画し、同大・興動館裏の熊岡神社で手づくりの竹灯籠1000個を点灯し、地域住民らと一緒に、災害があった2年前に思いをはせた▼被災地では、市などが策定した復興計画に基づき、新たな災害を防ぐための砂防ダム29基が完成した。一方、流れ出た雨水を河川に排水する設備を兼ねた避難路は、用地買収が3割にとどまり、着工していない。犠牲者が出た地区の人口は災害前に比べ900人以上減り、高齢化も進む地域コミュニティーの課題が依然として残っている▼市と県主催の追悼式で両親を亡くした市井由佳利さん(56)は「日頃の防災意識を高め、悲劇を繰り返さないことが一番の慰霊になる」と追悼の言葉を述べた▼これから台風シーズン。後輩の頼もしさとともに「あの日」を忘れず、地域の防災やつながりを見つめ直す一日となった。(遠)